



F1開催による地域活性化に向け、活発に意見が出されたシンポジウム



モータースポーツジャーナリストの川喜田研さんを樽井良司総支配人ら六人がパネル討議。「地域の宝に気付き、積極的に動くことが大切」

木で作られたマシンのミニチュアなどのコレクションが展示された「1日限りのF1個人ミュージアム」。いずれも鈴鹿市文化会館で

鈴鹿市の鈴鹿サーキットで十月、三年ぶりに復活する自動車レースの最高峰・フォーミュラワン(F1)日本グランプリに向けたイベントが七日、市文化会館で開かれ、関係者によるシンポジウムやコレクションの展示など機運を高めた。

(村瀬力)

F1開催を地域活性化に生かすと、市や県、鈴鹿商工会議所、企業などによる協議会が企画。この日を「F1の日」と定め、盛り上げのスタートを切った。

シンポジウムでは、ホンダ・レーシング・ディベロップメント初代社長の田中詔一さんが「F1ビジネス」と題して基調講演。「野

球やゴルフなどのよつに継続的にヒーローが誕生するよつに底辺を拡大し、企業から地域の活動として活性化を図る必要がある」と結論付けた。

F1が復活する。調査は、市が民間調査機関「百五経済研究所」に委託。鈴鹿サーキットで開催された最新の二〇

F1経済効果293億円

六六年をモデルに、We bアンケートによる観戦者一千四百三十二人の回答、大会やチーム関係者の聞き取りなどから推計した。

チケット購入費や宿泊費、交通費、飲食費など観戦者や関係者らが直接消費する支出は百二十四億円と算出。直接効果がもたらされた各産業や、その従業員の消費拡大などによる間接効果を百六

活力の源期待

鈴鹿市推計、「活力の源」期待は、木を削って作った、垂井ひろしさんが

3年ぶり復活

10月のF1盛り上げへ

鈴鹿 シンポや模型マシン展

三重県鈴鹿市は七日、自動車レースの最高峰・

F1日本グランプリ開催

に伴う国内での経済効果

は二百九十三億円に上る

という推計結果を発表し

た。同市の鈴鹿サーキットでは十月、三年ぶりに

F1が復活する。

調査は、市が民間調査機関「百五経済研究所」

に委託。鈴鹿サーキット

で開催された最新の二〇

九年九千万円と算出した。

経済効果は東海三県で百六十八億円、鈴鹿市内だけでも七十七億円と推計。川岸光男市長は「想定外の大きな効果に驚いた。F1を不況を吹き飛ばす活力の源にしたい」と期待している。

十九億円と分析し、合わせて三百億円近い効果を生み出すと見込んだ。これとは別に、新聞の活字による広告宣伝効果は五億九千万円と算出した。

鈴鹿市の鈴鹿サーキットで06年に開催されたF1日本グランプリの経済効果は292億9千円——百五経済研究所(津市)が7日、こんな推計結果を発表した。

06年のF1開催 経済効果290億円

百五経済研推計

業、観戦経験者らにアンケートや聞き取り調査をして算出した。

観客のチケット購入費や宿泊、交通費、チーム関係者が直接受け支出した額を推計すると、1ランブリ開催を控えた鈴鹿市が調査を依頼。同研究所がチム関係者、関連ビジネスの企

鈴鹿でシンポ
鈴鹿サーキット(鈴鹿市)

3年ぶり開催で F1と観光語る

で今秋、自動車レースの最高峰・F1が3年ぶりに開催されるのを記念したシンポジウムが7日、市文化会館であつた。「鈴鹿F1日本グランプリ地域活性化協議会」(会長

・川岸光男同市長)が開いた。

シンポジウムには、鈴鹿サーキットの樽井良司総支配人や鈴鹿出身のレース写真家、

熱田護さんら6人が出席。モータースポーツジャーナリストの川喜田研さんがコーディネーターを務めた。

モータースポーツと観光振興について話し合い、「世界でF1を開催できる場所はわずか。鈴鹿の知名度が世界でも高いのは地元の誇り」「鈴鹿には自然や伝統に加え、農漁業や自動車関連などの産業面いろいろな魅力がある。観戦客をもてなすには市民がそのことを理解しなければ」といった意見が出た。

このうち、三重県内への経済効果は119億5千万円、鈴鹿市内への効果は76億9千万円だった。

同市の川岸光男市長は「想定した以上に大きな額だった。F1が元気の源となるよう、地域の活力に結びつけたい」と語った。

F1
鈴鹿

市への経済効果77億

鈴鹿市は7日、自動車レースの最高峰、F1日本グランプリが今年10月に鈴鹿サーキットで再開されるのを受け、2006年に同サーキットで開催された際の

経済波及効果は国内全体で292億9000万円、同年9月、インターネット上に専用サイトを開設し、06年9月、インターネット上にアンケートを実施した結果、観戦客らによる宿泊、交通、飲食費、チケット購入費など直接効果は124億3000万円

で、各産業での設備投資や従業員の増加所得による消費などの間接効果は124億3000万円と推計した。

鈴鹿市は「予想を大きく上回る経済効果のあることが分かった。経済状況が悪化しているが、3

関係者、大会主催者、宿泊施設などに聞き取り調査した。

観戦客は開催3日間で16万1000人に上り、同市内に平均3・1日滞在し、

は119億5000万円で、同市内が県内の3分の2を占め、年間430人の雇用を生み出せるほど

の効果に相当しているという。

川岸光男市長は「予想を

はるかに上回る経済効果の効果に相当している」と話していた。

域経済の活性化に期待したい」と話していた。

自動車レースの最高峰
・F1日本グランプリ
(GP) の経済効果は
約293億円——。鈴鹿
市は7日、06年に鈴鹿サ
ーキットで開催された
GPの経済効果を発表
した。今年10月にGPが
3年ぶりに鈴鹿サーキ
ットで再開されるのを機
に百五経済研究所(津

市)に調査を依頼してま
とめた。
調査では、同研究所が
06年GP

F1効果293億円

鈴鹿市 今年10月の再開に期待
08年9~10月、インター
ネット上に「F1サイト」
を開設して観戦者のアン
ケートを実施。06年に行

われたGPを観戦した全
国からの回答者2432
人と、参加チーム関係者
を126億9000万円
とし、うち直接効果は1
24億3000万円と算
出。このお金が各産業の
雇用や回転資金などにも
たらしたり、賃金を受け
取った人が消費を使った
りして、約169億円の

間接効果を生み、国内で
の経済効果は292億9
000万円になったとし
ている。
川岸光男市長は「大き
な経済効果があることが
分かった。調査結果を踏
まえ、3年ぶりのF1の
受け入れ態勢などの向上
に取り組む」と話した。
【大原隆】

F1開催での経済効果

鈴鹿市で76・9億円

鈴鹿市が発表



F1の経済波及効果について話す川岸市長
=鈴鹿市飯野寺家町の市文化会館で

【鈴鹿】鈴鹿市は七日、同市飯野寺家町の市文化会館で記者会見を開き、平成十八年のF1日本GP開催に伴う経済波及効果についての調査結果を発表。鈴鹿市内の経済効果が総額七六・九億円、県内の経済効果が総額一九・五億円、だつたことが分かった。国内全体にもたらした経済効果は直接効果が一二四・三億円、間接効果が一六八・六億円で、総額二九二・九億円に上る。波及倍率は二・三六倍。

調査はF1再開を契機とした地域観戦戦略のさらなる推進に役立てるため、市が五百五経済研究所(津市丸之内)に業実態調査では、観戦経験者を委託して実施した。

国内全体への経済効果のうち、県への効果は41%を占める。鈴鹿市内への効果は、県への効果の約三分の二となり、市に新しく四百三十一人の雇用を一年間生み出すことができる額に相当する規模になる。ほかにも市内の経済効果については、運輸や旅館・宿泊所、飲食店などで効果が高いことなどが分かった。

調査報告を受け、川岸光男市長は「予想以上の数字で、市内だけでなく、周辺市町や他県、全国へと大きな経済効果を生み出していることが分かった。暗いニュースが続いているが、F1を地域の活力の源に結び付けていきたい」と述べた。

経済効果の調査結果は同日、同所で開催した「二〇〇九年F1日本グランプリ in 鈴鹿開催記念シンポジウム」の中で、来場した市民らにも公表した。

算出した。直接効果によって誘発された設備投資などの間接効果は、総務省や各県の産業関連表を使って推計した。

国内全体への経済効果のうち、県への効果は41%を占める。鈴鹿市内への効果は、県への効果の約三分の二となり、市に新しく四百三十一人の雇用を一年間生み出すことができる額に相当する規模になる。ほかにも市内の経済効果については、運輸や旅館・宿泊所、飲食店などで効果が高いことなどが分かった。

調査報告を受け、川岸光男市長は「予想以上の数字で、市内だけでなく、周辺市町や他県、全国へと大きな経済効果を生み出していることが分かった。暗いニュースが続いているが、F1を地域の活力の源に結び付けていきたい」と述べた。

経済効果の調査結果は同日、同所で開催した「二〇〇九年F1日本グランプリ in 鈴鹿開催記念シンポジウム」の中で、来場した市民らにも公表した。